



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月14日

上場会社名 ダイコク電機株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 6430 URL <https://www.daikoku.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大上 誠一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理統括部長 (氏名) 岡本 篤憲 (TEL) 052-581-7111  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	11,289	△6.3	749	△13.2	871	△5.2	570	△15.9
2022年3月期第2四半期	12,047	8.5	863	—	919	—	678	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 570百万円(△16.1%) 2022年3月期第2四半期 679百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	38.59	—
2022年3月期第2四半期	45.91	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	39,911	31,194	78.2
2022年3月期	41,489	31,141	75.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 31,194百万円 2022年3月期 31,141百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2023年3月期	—	10.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	8.7	1,100	△7.7	1,300	△4.9	850	△30.8	57.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	14,783,900株	2022年3月期	14,783,900株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	918株	2022年3月期	918株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	14,782,982株	2022年3月期2Q	14,782,982株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関しては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染予防に関する制限等が緩和され、ウィズコロナに向けた経済や社会活動の正常化が進むなか、景気の持ち直しがみられました。しかしながら、急激な円安や資源価格の高騰や供給面での制約による物価上昇など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、パチンコホールでは営業店舗数は年々減少する厳しい市場環境のなか、徹底した感染症対策を講じながら営業を継続しており、遊技機の稼動状況につきましては、2022年7月～9月の期間平均で前年同期比101.7%となりました。種別稼動状況につきましては、パチンコ機は昨年度末に登場した遊技機がファンから高い支持を得ており、7月～9月の期間平均は前年同期比103.0%と引き続き堅調に推移しました。一方、パチスロ機では7月～9月の期間平均は前年同期比98.5%となりましたが、6月よりパチスロ6.5号機の導入が本格的に始まり、ファンから高い支持を得た遊技機登場の効果もあり、9月単月では前年同期比101.2%となるなど、6.5号機への注目が集まっております(当社「DK-S I S」データ比較)。

さらに、7月19日にパチンコ業界関係者向けにスマート遊技機フォーラムが開催され、それ以降パチンコホールのスマート遊技機(スマートパチスロ・スマートパチンコ)への期待感が一気に高まり、導入に向けた準備・設備投資が活発になってきております。市場への導入予定時期は、スマートパチスロが2022年11月、スマートパチンコは2023年春頃となっております。

このような市場環境のもと、情報システム事業におきましては、11月より市場導入予定となるスマート遊技機のデータ管理に最適なAIホールコンピュータ「X(カイ)」へシステムアップによる入替促進を提案しました。また、8月には今年で19年目を迎えた「DK-S I S 白書」2022年度版(2021年データ)を発刊しました。本書はパチンコホールから日々送信される約140万台(市場シェア36.8%)、年間売上7.1兆円という大規模かつ正確な営業データを集計・分析したもので、年間の分析結果を掲載し、業界関係の皆さまには将来を見通す上での指標としてご活用いただいております。

制御システム事業におきましては、第1四半期に引き続き、既存のパチンコ機に加え、事業領域拡大のため、パチスロ機の開発体制の強化及び製造環境の整備に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高112億89百万円(前年同期比6.3%減)、営業利益7億49百万円(同13.2%減)、経常利益8億71百万円(同5.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益5億70百万円(同15.9%減)となりました。

セグメント業績は次のとおりであります。

#### (情報システム事業)

当事業の第2四半期連結累計期間は、導入予定時期が近づくスマート遊技機の動向を探る動きもあり、新規出店や大規模改装工事を控える厳しい状況となりましたが、スマート遊技機への期待感から、導入に向けた事前の設備投資が活発になってきております。当社としても半導体不足の影響は継続している状況ではありますが、この需要に最大限に応えられるよう準備を進めております。

このような市場環境のもと、「パチンコホール向け製品等」の売上は、世界的な半導体不足の影響のため供給が追い付かず、残念ながら販売台数を調整せざるを得ない対応となり、前年同期を下回りました。「サービス」売上は、「MGサービス」など主要なサービスは堅調に推移したものの、コンシューマビジネスが伸び悩んだこともあり、前年同期から微減となりました。

この結果、当事業の売上高は85億5百万円(前年同期比7.4%減)、セグメント利益は14億6百万円(同4.4%増)となりました。

## (制御システム事業)

当事業の第2四半期連結累計期間は、前期に実施された新規機への入替が完了したことによる反動と、今後市場投入されるスマート遊技機の動向を探る姿勢が見られ、市場全体における遊技機販売台数は減少しました。このような市場環境のもと、表示ユニット及び制御ユニット販売は前年同期を下回りましたが、部品販売は好調に推移し、前年同期を上回りました。また、第1四半期に引き続き、取引先遊技機メーカーの民事再生手続きによる債権に対する貸倒引当金を計上しました。

この結果、当事業の売上高は27億88百万円（前年同期比2.7%減）、セグメント利益は48百万円（同81.8%減）となりました。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率(%)
売上高	12,047	11,289	△757	△6.3
情報システム事業	9,187	8,505	△681	△7.4
制御システム事業	2,866	2,788	△78	△2.7
営業利益	863	749	△113	△13.2
経常利益	919	871	△47	△5.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	678	570	△108	△15.9

(注) セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、スマート遊技機導入に向けた準備などに伴う製品の増加などがありましたが、営業債務の決済などによる現金及び預金の減少や、減価償却費の計上などによる有形固定資産及び無形固定資産の減少等があったことにより、前連結会計年度末に比べて15億77百万円減少の399億11百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、2022年3月に比べ2022年9月の設備投資額が小さかったこと、消費税等の納付などによるその他流動負債の減少等により、前連結会計年度末に比べ16億30百万円減少の87億17百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、期末配当金の支払がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ52百万円増加の311億94百万円となりました。自己資本比率は78.2%（前連結会計年度末比3.1ポイント上昇）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年11月14日公表の「2023年3月期第2四半期業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

また、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書(2022年6月30日提出)により開示を行った内容から重要な変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,581,552	15,150,238
受取手形、売掛金及び契約資産	3,395,453	2,729,781
電子記録債権	1,672,665	406,310
商品及び製品	3,670,843	6,002,511
仕掛品	93,408	92,842
原材料及び貯蔵品	669,916	563,086
その他	683,570	908,852
貸倒引当金	△3,210	△53,603
流動資産合計	26,764,200	25,800,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,378,195	3,273,829
土地	4,162,117	4,162,117
その他（純額）	818,769	665,867
有形固定資産合計	8,359,082	8,101,814
無形固定資産		
ソフトウェア	2,318,108	2,009,752
その他	33,547	33,295
無形固定資産合計	2,351,655	2,043,047
投資その他の資産		
繰延税金資産	679,116	611,015
投資不動産（純額）	881,248	872,663
その他	2,608,634	2,820,098
貸倒引当金	△154,032	△336,668
投資その他の資産合計	4,014,967	3,967,107
固定資産合計	14,725,705	14,111,970
資産合計	41,489,905	39,911,989

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,594,482	1,783,052
電子記録債務	2,588,490	2,314,400
短期借入金	2,000,000	2,000,000
未払法人税等	32,678	257,742
役員賞与引当金	64,240	24,480
製品保証引当金	61,368	43,476
その他	2,078,128	1,358,654
流動負債合計	9,419,388	7,781,806
固定負債		
役員退職慰労引当金	433,496	441,453
退職給付に係る負債	228,631	226,601
その他	266,675	267,738
固定負債合計	928,803	935,794
負債合計	10,348,192	8,717,600
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	29,662,225	29,715,247
自己株式	△1,692	△1,692
株主資本合計	31,014,540	31,067,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,680	12,744
退職給付に係る調整累計額	114,491	114,080
その他の包括利益累計額合計	127,171	126,825
純資産合計	31,141,712	31,194,388
負債純資産合計	41,489,905	39,911,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	12,047,228	11,289,751
売上原価	6,943,926	6,056,209
売上総利益	5,103,302	5,233,541
販売費及び一般管理費	4,239,804	4,483,744
営業利益	863,498	749,796
営業外収益		
受取利息	14,970	7,613
受取配当金	7,300	7,236
不動産賃貸料	45,045	44,295
雇用調整助成金	—	74,156
その他	17,014	21,552
営業外収益合計	84,330	154,854
営業外費用		
支払利息	3,639	3,331
為替差損	1,102	5,917
不動産賃貸費用	23,497	23,185
その他	441	691
営業外費用合計	28,680	33,126
経常利益	919,147	871,524
特別利益		
固定資産売却益	—	1,771
投資有価証券売却益	—	3,375
特別利益合計	—	5,146
特別損失		
固定資産除却損	191	6,723
減損損失	67,047	2,500
その他	2,690	—
特別損失合計	69,930	9,223
税金等調整前四半期純利益	849,217	867,447
法人税、住民税及び事業税	19,462	228,766
法人税等調整額	151,141	68,254
法人税等合計	170,603	297,020
四半期純利益	678,613	570,426
親会社株主に帰属する四半期純利益	678,613	570,426

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	678,613	570,426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,566	63
退職給付に係る調整額	3,271	△410
その他の包括利益合計	704	△346
四半期包括利益	679,318	570,080
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	679,318	570,080

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,187,387	2,859,841	12,047,228	—	12,047,228
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,655	6,655	△6,655	—
計	9,187,387	2,866,496	12,053,884	△6,655	12,047,228
セグメント利益	1,346,981	265,744	1,612,725	△749,226	863,498

(注) 1 セグメント利益の調整額△749,226千円には、セグメント間取引消去4,213千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△753,439千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「情報システム事業」セグメントにおいて、今後利用計画のない遊休資産について、今後のキャッシュ・フローの回収可能性を鑑みて、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、63,007千円であります。

「制御システム事業」セグメントにおいて、連結子会社の有する事業用資産について、今後のキャッシュ・フローの回収可能性を鑑みて、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、4,040千円であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来の「営業外収益」に計上していた「受取分配金」は、「売上高」に含めて計上するように組替えております。当該変更により、組替え前に比べて「制御システム事業」の売上高及びセグメント利益が38,412千円増加しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,505,652	2,784,099	11,289,751	—	11,289,751
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,151	4,151	△4,151	—
計	8,505,652	2,788,250	11,293,902	△4,151	11,289,751
セグメント利益	1,406,413	48,237	1,454,651	△704,854	749,796

(注) 1 セグメント利益の調整額△704,854千円には、セグメント間取引消去1,235千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△706,090千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「制御システム事業」セグメントにおいて、連結子会社の有する事業用資産について、今後のキャッシュ・フローの回収可能性を鑑みて、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、2,500千円であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	情報システム事業	制御システム事業	
パチンコホール向け製品等	5,989,963	—	5,989,963
サービス	3,197,423	—	3,197,423
遊技機メーカー向け表示・制御ユニット等	—	1,776,754	1,776,754
部品・その他	—	1,083,087	1,083,087
顧客との契約から生じる収益	9,187,387	2,859,841	12,047,228
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	9,187,387	2,859,841	12,047,228

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	情報システム事業	制御システム事業	
パチンコホール向け製品等	5,319,466	—	5,319,466
サービス	3,186,185	—	3,186,185
遊技機メーカー向け表示・制御ユニット等	—	1,011,172	1,011,172
部品・その他	—	1,772,927	1,772,927
顧客との契約から生じる収益	8,505,652	2,784,099	11,289,751
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	8,505,652	2,784,099	11,289,751